



筑波大学 北アフリカ研究センター
Alliance for Research on North Africa,
University of Tsukuba

第64回ARENA定期セミナー

世界遺産の文化的翻訳作業

ー長崎県の世界遺産登録作業における 法と文化の多層性ー

日時：平成26年1月23日（木曜日）17:30～19:00

場所：北アフリカ研究センター会議室（共同研究棟A303）

講演者：山田 亨 氏

筑波大学 人文社会系 助教

講演要旨：2007年1月に長崎各地にあるキリスト教教会群と関連遺産が文化庁の選定を受け世界遺産暫定リストへ追加登録されて以来、長崎県各地では教会群と関連遺産を正式に世界文化遺産として登録することへの各種取り組みが文化庁、県庁、そして、関係市町といった地元自治体により進められている。世界遺産登録を行政の政策としてとらえた場合、観光を含めた産業の変化や遺産という文化の表象という問題はさることながら、地域住民の間では国際法である世界遺産条約が法的な実体をもって地域の住民生活にどのような影響を与えるようになっていくのか、もしくは、世界遺産条約という国際法を地域の中で以下に実体化させていくのか、という法・政治人類学的な問題である「政策と地域住民の関係」や法制度という「ことばと地域住民の関係」のプロセスが内在していることが分かる。そこで、本報告では、C. S. パース（1961）やM. シルバステイン（1970）などの語用論（indexicality）をもとに、長崎県の世界遺産登録プロジェクトを国際法の翻訳作業として捉え国際法と住民との関係を分析する。

平成25年度ARENA定期セミナー世話人：

Tariq（タリク）（ARENA助教 内線8837）

上山 一（ARENA助教 内線7871）